



TCA

— NEWS —

Vol.92 12月号

発行
富山市民国際交流協会
〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号
CiCビル3F富山市国際交流センター内
TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643
発行責任者 広報・組織強化委員会

国際交流フェスティバル2018 in TOYAMA

富山駅とCiCビルで世界を体験！

平成30年11月11日(日) 10:30~16:30



新春国際交流のつどい 2019開催!

新春恒例となりました新春のつどいを1月に開催します。
いろいろな文化体験をしながら楽しく交流しましょう!

- 日時 平成31年1月20日(日)
14:00~16:00
- 場所 富山市国際交流センター
- 会費 会員・外国人 300円
一般 600円
高校生以下無料
- 定員 100名
- 内容 日本文化体験コーナー(抹茶、福笑い、ゲーム他)
じゃんけん大会 他



私たちの活動説明会

一緒に活動しませんか!?

- 日時 平成31年2月23日(土)
14:00~15:30
- 場所 富山市国際交流センター
- 内容 活動説明、体験談発表、
ティーパーティー

※参加費
無料



募集中です!!

国際交流フェスティバル 2018

11/11
(日)

主催／国際交流フェスティバル2018実行委員会

共催／富山市民国際交流協会、(公財)とやま国際センター、JICA北陸

富山駅&CiCビル

「異文化理解と交流」を深めることをテーマに、富山駅とCiCビルの2会場で国際交流フェスティバルを開催しました。29の国際交流・協力団体と37の国と地域の方たちの参加がありました。

開会式では、主催者側を代表して富山市民国際交流協会会長 高木繁雄の開会挨拶に続き、富山市長 森 雅志様(代理：副市長 今本雅祥様)からご祝辞をいただきました。

富山駅会場では、17の国際交流・協力団体と32カ国の各国紹介ブースが設けられました。各ブースでは「ありがとうコレクション」として世界の挨拶言葉を集めにブースを回り、体験コーナーでは花文字やしおり作り等を楽しんでいました。

CiCビル会場では、外国人カラオケ大会でステージが始まり、国際交流・協力団体の活動紹介やバザー、民族衣装や着物の試着体験などがあり、スタンプラリーのゴールではリンの音が鳴り響いていました。

閉会式では、実行委員長 北東 俊夫が来年もフェスティバルで皆さんと再会できることを楽しみにしていますと、閉会宣言を行いました。

当日は、ボランティアスタッフの皆様のおかげで、国際色豊かなフェスティバルにすることができました。

観る・聴く

数年ぶりに復活した外国人カラオケ大会は、順調な進行でステージも大いに盛り上がりました。日本語の歌にもかかわらず出場者は見事に歌いこなしていて、レベルの高さに審査員も採点に苦労されたようです。インドの国際交流員による踊りは、男女の掛け合いがあり、 Bollywood映画のような愉快的な内容でした。今回初となる台湾の踊りは、民族衣装に身を包んだ女性たちの壮麗な姿が印象的でした。



①開会式(富山駅)



⑩台湾の踊り(CiC)



⑧中国の踊り(CiC)



②ブラグアイのポトルダンス(CiC)



①外国人カラオケ大会(CiC)



⑭ボリビアの歌と音楽(CiC)



⑤沖縄の三線の演奏(CiC)



⑦インドの踊り(CiC)

食べる

CiCビル前の移動販売車では、パキスタンのカレーやジャマイカ名物のジャークチキン(スパイスに付け込んだ鶏肉のグリル)の出店があり、1階アトリウム横では、イタリアンジェラートやオーガニックのパンの販売もありました。



⑩着物ショー(CiC)

ステージ

富山駅ステージ

- ① 開会式
- ② 各国ブース紹介

CiCワールドステージ

- ① 外国人カラオケ大会
- ② ブラグアイのポトルダンス
- ③ ブラジルの歌と音楽
- ④ ネパールの歌と踊り
- ⑤ 沖縄の三線の演奏
- ⑥ 着物ショー1
- ⑦ インドの踊り
- ⑧ 中国の踊り
- ⑨ ロシアの歌とジブシーダンス
- ⑩ 着物ショー2
- ⑪ 台湾の踊り
- ⑫ フィリピンの歌と音楽
- ⑬ 雅楽演奏
- ⑭ ボリビアの歌と音楽
- ⑮ 閉会式

交流する

各国のスタッフがパネルにお国自慢や紹介の写真、国旗などを飾って、自分の国のPRをしていました。

「ありがとうコレクション」も大盛況で、言葉集めを通じて各国の皆さんと交流できたのではないのでしょうか。



各国紹介(カナダ)



各国紹介(メキシコ)



各国紹介(ベトナム)

知る

国際交流・協力団体が、富山駅とCiCビルの両会場で、パネル展示やバザーで活動の紹介やPRに努めていました。CiCビル3Fの富山国際学園サテライトオフィスでは、留学生や日本人学生による体験発表が行われました。発表後の質疑応答では、たくさんの質問が上がり大変盛況でした。

とやま国際センター主催のロシア語スピーチコンテストは、和気あいあいと温かい雰囲気の中で行われました。ロシア語学習者同士の交流の良い機会となったようです。



団体活動紹介(CiC)



防災コーナー(富山駅)



団体活動紹介(富山駅)

体験する

<富山駅>

「中国の花文字」は、いつもながら好評でした。

「おはしde豆つかみ」は、大人も子供も入り混じって楽しみながらタイムを競っていました。観光協会の協力で、甲冑体験もありました。

<CiC>

お箸作りに加えて今回は風車作りもあり、木で作る珍しさもあってか人気でした。毎回好評の消しゴムハンコ作りも開始から終了まで参加者が途切れることがありませんでした。中にはスマホから図案を取り出して作成している人もあり、人気のほどをうかがい知ることができました。どの体験コーナーでも大人から子供まで手作りを楽しんでいました。

着物の着付け体験では、ステージで2回、ファッションショーのようにお披露目も行いました。色とりどりの華やかな振り袖姿が大好評でした。



消しゴムはんこ(CiC)



風車づくり(CiC)



ヘナ(富山駅)



紙三味線作り(CiC)



甲冑体験(富山駅)



お姫様体験(富山駅)



中国花文字(富山駅)

ありがとうメッセージ

実行委員会事務局より一言

国際交流フェスティバル2018にご来場のみなさま並びに実行委員会ボランティアスタッフのおかげで、国際色豊かなフェスティバルにすることができました。本当にありがとうございました。

国際交流フェスティバルに参加して

ジェニファー・リカフレンテさん（フィリピン出身）

Greetings this holiday season! First of all thanks to TCA for holding the International Festival 2018 Last Nov 11 and congratulations to all of the staff and members for its success. Representing Philippines for more than a decade has been my pride and I am grateful for the opportunity to share Filipino culture while enjoying light hearted conversation. During the festival we sang the international hit song “ANAK” or “Child” in English and it has a Japanese version “息子”, a popular folk song by Freddie Aguilar (1977). We held mini try-outs of the Ifugaoan Tribal clothing (Tapis etc) to our booth visitors. Traditional hand-woven colorful clothing that is still worn today from the Ifugao Tribe in Cordillera Mountains and is visible when you are in the highland of Baguio City in the region of Luzon. Sharing the wonderful heritage to other nation-

als and vice versa is such a privilege and an amazing encounter of different culture right at the heart of Toyama City.

(要約文)

まずはじめにこの国際交流フェスティバル2018を開催された実行委員会に感謝いたします。すべての実行委員のみなさま、フェスティバルの成功おめでとうございます。

10年以上もの間フィリピンを代表し参加でき、たいへん誇りに思います。楽しい会話を通してフィリピンの文化を皆様にも知ってもらえる機会を得られたことにたいへん感謝しています。フェスティバルでは、フレディー・アギラの人気のあるフォークソングで、国際的にヒットした“ANAK(息子)”(1977年)(日本語版もあり)を歌いました。またブースでは、イフガオ族の民族衣装試着コーナーを設けました。富山市のまさに中心で、ほかの国々の方々とすばらしい遺産をお互いに共有できることはうれしい恩恵であり、それは異なる文化との素晴らしい出会いです。



多文化共生事業



富山まつり「越中おわら踊り」 8月4日（土）城址大通り

8月4日（土）に開催された富山まつりに今年も参加しました。今年は外国人の参加者が多く、総勢54名の内、日本人はわずか15名の多国籍チーム(!)となりました。

皆、浴衣選びの段階からすでにテンション高めで、浴衣を着てセルフィー！練習してセルフィー！踊りが始まる城址大通りに行きつくまでセルフィー！と記念写真のラッシュ（笑）。

連日の猛暑のため外で踊るなんて大丈夫かしらと危惧していたものの、夕方になると風も出てきて、おわらの調べと併せて何とも心地よい雰囲気。わずか1時間程度の練習と思えないほど皆の振り付けも揃っていて、素晴らしい輪踊りになりました。

MPBで学ぶポルトガル語講座 講師：白川 セリナ サナエ

9月11日（火） 参加者名7名

「南米の音楽と料理を味わう」 CiC地階インカ食堂

待ちに待った南米音楽のライブ鑑賞！食事と一緒に楽しめて、嬉しさ倍増。アンデス音楽グループWAYNO（ウエイノ）の奏でるフォルクローレは、ルーツが地球の裏側なのに、私たちの耳に馴染んでスーッと心に染み込む。異国情緒たっぷりなのに、懐かしさにあふれている。国や人種や言葉の違いを超えて人と人を結び音楽の不思議な力を感じずにはいられない。この心地よく親密な雰囲気の中で思った。国際理解の第一歩が、お互いの違いを知って認め合うことだとしたら、その時踏みしめる地盤は、同じ人間同士という揺るぎない大地であるべきだと。

10月9日（火） 参加者7名

「フォホーで歌って踊ろう」 当センター

久しぶりに帰ってきた、踊る教室。ブラジル北東部の伝統音楽Forro（フォホー）は以前の講座でも経験済みだが、それは何の役にも立たなかった。相変わらず早口の歌詞に舌を噛み、足はもつれて息が上がった。お手本のビデオでは、人々がそれはそれは楽しそうに踊っている。曲名はFeira de mangaio（よろず市）。ブラジルの町では、曜日を決めてFeira（フェイラ）と呼ばれる路上市が開かれる。およそ生活に必要な品物は何でも売られていて、少しでもブラジルに暮らした人は皆この市場のファンになってしまうという。だとしたら、なんで日本には無いのかな～？

日本語ボランティア登録者研修会 8月25日（土）参加者 29名

「擬音語と擬態語パート2」 講師：原 和子 場所：とやま市民交流館

擬音語・擬態語の指導方法を学んだ。擬音語とは、「わんわん・バタン」など実際に聞こえる音を表す。擬態語とは、「ザラザラ・くしゃくしゃ」など五感に訴える表現が多い。指導方法は実物・写真・図・まんが・実演などで行うが、日本独特の表現なので指導も難しいと原先生が話しておられた。最後に、絵を見ながらどの擬態語が合っているか？日本人でもちょっと難しく、興味深かった。



富山市総合防災訓練

事前研修会 9月8日(土) 参加者19名

研修前半は、富山市地域防災計画、災害多言語支援センターについて説明のあと、災害への備えを確認した。その後、「やさしい日本語」に書き直す練習。多様な母語をもつ人たちが滞在する昨今、「やさしい日本語」は大切なコミュニケーションツールである。また、通訳をする上での心得を神保先生にお話しいただいた。後半は、災害支援時に必要となる基本単語の確認後、避難所を想定し多言語による聞き取りの訓練をした。

訓練に参加 9月29日(土) 八尾コミュニティセンター 参加者29名

訓練の一つとしての会場設営の後、体験会場へ行き煙中体験や一斉放水等を体験。様々な機関のブースを回り、災害への備えを確認した後、英語班、中国語班、韓国語班に分かれて訓練開始した。今年は、連携機関である保健所、医師会が隣接していたため訓練がスムーズだった。避難所トリアージ、避難所内要援護者スペース、そして応急救護所での通訳訓練をした。「手足のしびれ」といった基本単語等もいざとなるとなかなか難しいことを実感。避難所情報を翻訳したものをホワイトボードに掲示。英語班は、1対1だったため、避難所マップでそれぞれの避難所について外国人参加者に説明ができてよかった。



中学生英語講座

10月からの5カ月間(全15回コース)土曜日の午後に開催しており、市内の中学校1年生、34名が受講。ジャマイカ出身のサーシャ・スマートさんとフィリピンからの国際交流推進員6名とともに、楽しく英語を学んでいます。

外国語ボランティア養成講座 実地研修 & ディスカバー富山 9月15日(土)

場所 (1) 真言密宗 大本山 大岩山日石寺

(2) 曹洞宗 眼目山立山寺 ※通称 眼目の寺(さっかのてら)

明け方の土砂降りゆえ心配したが、大岩山でバスを降りる頃には雨も上がってホッとした。英語班29名を五つに分け、韓国語班、中国語班と合わせ7つのグループで回り日石寺と立山寺の本堂での説明を班員が一人、一文ずつ訳していくという活動を行った。外国語に直すという挑戦もさることながら富山のことを知るという意味では大変有意義であり、そのあと境内を廻り深谷美や榎並木の美しさ、そして昼食で食べたソーメンのうまさもあって、今回は個人的には今までの同様の実地研修の中で一番素晴らしかったのではないかと思います。



眼目の寺榎並木

外国語ボランティア養成講座 後期～富山の生活編～

●第1回「食 事」

10月27日(土) 参加者 37名

お話 「食の提供について」

講師：富山エクセルホテル東急 レストランリコモネアシスタントマネージャー 松井 満さん

アレルギーなどの理由で特定の食材が食べられない人が増加しているが、外国の方の場合、それに加えて、宗教上、主義上等の理由で食事制限がある場合があり、食事提供の際、特に配慮が必要である。イスラム教徒やユダヤ教徒、ベジタリアン、ヴィーガンなど。また最近ではアレルギーの方が増えて、ホテルとしてもたいへん気を使っておられるそう。外から見ただけでは分からない材料が含まれているので、細かくチェックすることが大切。最後には実際に食器や飲物をカートで持参されてのデモンストレーションに、雰囲気や和らぎ、参加者はとても楽しそうだった。後半は会話を通じ、日本食名や、説明の仕方について学んだ。

●第2回 「外国人と日本の年金」

11月24日(土) 参加者 34名

お話 「外国人と日本の年金

～外国との社会保障協定と脱退一時金～」

講師：富山年金事務所

お客様相談室上席年金給付専門員 谷内道緒さん

以前は、短期滞在の外国の方が帰国する際、脱退一時金制度があり手続きをして帰国していたが、現在はそれに加え、日本が様々な国と社会保障協定を結び、協定締結国出身であれば、脱退しなくても、年金加入期間を通算できる。対象国や申請時期によって、取扱いが変わっている。年金窓口で最新の情報を確認しながら手続きをすることが大切。後半は、会話を通じ、年金関連の語彙や表現を学んだ。



委員会報告

総務企画

国際交流TCAカレッジ

当センター

第1部 インドのお話 講師 ダーサリ ラメーシュ さん

第2部 ラフターヨガ体験 講師 臼井 学 さん他

10月15日(月) 参加者 43名

国際交流員として富山県庁に勤務するダーサリ・ラメーシュさんにインドとヨガについてお話していただきました。母国語はテルグ語ですが、英語、日本語も堪能で、お話は全て日本語でした。



富山県はインドとの経済交流を積み重ねてきた中で、ダーサリさんの出身地であるアンドラ・プラデシュ州と2015年に「交流と協力に関する覚書」を締結して、日本との交流がより深まるようにとイベントやセミナー等が実施されているそうです。

2013年にはインド映画「Something Something」のロケ地として富山県が選ばれていて、文化面での交流も進めてきているとのこと。今後ますますインドからの観光客が増えるのを期待したいものです。

ラフターヨガ(笑いヨガ)体験

10月22日(月) 参加者 8名、

10月29日(月) 参加者 13名

10月15日に引き続き、22、29日の両日ラフターヨガ体験を開催しました。



ラフターヨガとは、笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた健康法で、笑いのもたらす健康のすごさを感じたインドの内科医によって考案されました。

「笑顔を作るだけでも効果がありますよ。脳が騙されるんです」と講師に言われ、ぎこちない笑顔でためらいがちに始まりましたが、子供のような遊び心で「1m笑い」や「ライオン笑い」などのエクササイズを行ううち、最後は思いっきり大きな声で「ホ！ホ！ハハハ！イエ～イ！」と決めポーズをとっていました。気づくと参加者みんなが本物の笑顔でした。

姉妹友好都市

豪州ガラス展覧会オープニング&作品鑑賞会

10月26日(金) 会場:富山市ガラス美術館5階ギャラリー 参加者: 46名

オーストラリア「キャンベラ・グラスワークス」にて毎年優れた現代ガラスアートに贈られるヒンドマーシュ賞を受賞した18作品の巡回展が富山市で開催された。協会員40名も出席して開会式典が行われた。引き続き、キャンベラ・グラスワークス芸術監督による作品解説が行われ、参加者は熱心に聞き入った。風景や人体の写真をガラスに焼きつけたり、ガラスの中に希ガスを封じ込めて放電によってさまざまな色に光らせるなど、無限に広がるガラスの可能性に意欲的に取り組んだ作品との出会いは刺激的で、ガラスを通じて世界とつながっていく富山の未来像が見えるようだ。



文化交流

ガラスで作ろう!

日時 10月21日(日) 場所 富山ガラス工房

参加者 外国人9名 日本人12名

秋晴れの空の下、古沢の富山ガラス工房でガラス作品の作成体験会を開催しました。一行は工房のバスで現地へ向かい、どんな体験ができるのか期待が高まります。ペーパーウエイトかアクセサリーのどちらか一つを選び、それぞれのグループで先生のご指導の下、和気あいあいと作品作りを楽しみました。どんな作品にしようか悩みながらも、色とりどりの個性豊かな作品ができ、2週間後の作品完成が待ち遠しい帰り道となりました。ガラスの町、富山ならではの貴重な体験会となりました。



年賀状を作ってみよう!

日時 11月17日(土) 当センター

参加者 外国人7名 日本人10名

国際派はグリーティングカードを出すことが多いでしょうが、日本ならではの新年の挨拶状にトライしてもらおうと、お年玉付き年賀はがきにスタンプやシールなどを使っての制作を楽しみました。

新年を迎える意味の文字や干支にも興味をもってもらい、和風柄のスタンプなどと合わせてあれやこれやと試作に盛り上り、個性あふれる素敵な年賀状が出来上がりました。そんな手作り年賀状が届いたらうれしいですね。



ボランティア

料理交流会 「夏の疲れをとる秋の健康づくり料理」

9月4日(火)中央保健福祉センター 参加者日本人12名 外国人6名

大型台風21号発生の朝を迎え、少し心配しましたが、みなさん元気に参加され講座を始めました。新しい栄養士の浦元先生から食生活の中で野菜を効率的にとる大切さについてお話を聞きました。その後、秋の健康づくりのための4種類の料理にとりかかりました。あっさりとした中に、元気の出る要素が詰まっているお料理でした。

メニュー 1 ナッツと鶏肉と彩り野菜の炒め物 2 長芋の団子汁
3 小松菜ともやしのごま和え 4 トマトゼリー



国際教養

多国言語文化交流クラス

◇ 8月4日(土) ポーランド & ポーランド語 講師 Mr. Mariusz Chabera

文化、ことば、歴史、観光、食べ物、世界における有名なポーランド、日本とポーランドの関係について65枚ものスライドを使う盛りだくさんのプレゼンでした。「文化」では、四季ごとにお祭りや祝日について説明があった。春は、子供たちが「Marzanna」という冬のシンボルを燃やして川に流す祭りがある。またポーランドのイースターは、「水をかける日」として知られ、水をかけられた人に幸運が訪れると言われている。春と夏の間には、「Wianki」という古くからのスラブの祝日があり、川にリース(花輪)を浮かべて夏の訪れを祝う。ポーランド人で有名なのは、天文学者のニコラウス・コペルニクス、作曲家のフレデリック・ショパン、ノーベル物理学賞と化学賞を2つ受賞したマリア・スクウォドフスカ=キュリー(キュリー夫人)。印象的だったのは、ポーランドは、ヨーロッパで一番結婚年齢が若くて、結婚指輪を右手の薬指にすることだった。



◇ 10月6日(土) フィリピン & フィリピン語 講師 Mr. John Heider Angeles

フィリピンは、333年間スペインの植民地であり、東南アジアで、最初に独立した国である。平均年齢が24歳という若者が多い国である。クリスマスを祝う期間は世界一長く、8月から1月頃まで祝う国というのは意外だった。興味深かったのは、男女交際で、女性が男性の誠意を試すLigaw(リーガウ)という風習があるということ。半年から1年ぐらいあるらしいが、その期間で恋人として認められるか判断される。人によって期間が違うが、リーガウが3年から4年も続いていたのに断られるケースもあるそうだ。その背景にはカトリックであり、離婚ができないために、女性が男性を選ぶのに慎重になるのにも理解ができる。



英語スピーチと討論の会

場所：当センター



◇ 9月11日(火)

" Does American food exist? "

スピーカー：Ms. Jessica McLemore
(米国出身)

◇ 10月9日(火)

" Hawai'i "

スピーカー：Ms. Leilani Rapaport
(米国ハワイ州出身)

◇ 11月13日(火)

" The Philippine Educational System
before the Implementation of K-12 "

スピーカー：Ms. Ojima Ma, Kristel Abalajon(フィリピン出身)

◆ 新規会員募集中 ◆

富山市民国際交流協会では、市民のみなさんが幅広く参加できる国際交流を推進するため、新規会員を募集しています。

みなさんも私たちの輪に入って、富山市の良さや国際交流の楽しさを一緒に発見しましょう！

ご入会特典

- ★協会広報誌TCA-NEWSをお送りします。
- ★各種イベントのスタッフとしてボランティア活動に参加し、外国の方と交流できます。
- ★語学講座や研修旅行、講演会に参加できます。

〈年会費〉個人会員 3,000円
家族会員 5,000円
法人・団体会員 10,000円

“勉強お助け隊” ボランティア募集

外国籍児童・生徒への学習支援事業として“勉強お助け隊”を開催していますが、宿題等を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

●毎週日曜日 10:00~12:00

委員会委員募集

6つの委員会(総務企画、姉妹友好都市、文化交流、ボランティア、広報・組織強化、国際教養委員会)に分かれて活動しています。各委員会では委員を募集中です。

お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642
FAX 076 (444) 0643

これからの講座・イベントカレンダー（12月～3月）

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
12月4日(火) 10:00～13:00	料理交流会（3）「お正月の料理」	20	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
12月8日(土) 15:15～16:45	多国言語文化交流クラス トリニダード・トバゴ	30	富山市国際交流センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
12月11日(火) 18:30～20:00	英語D Presentation Mr. Kareem Mahmoud (エジプト出身) Topic : The Scientific Breakthroughs and Discoveries	30	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
1月8日(火) 18:30～20:00	英語D Presentation Mr. Jeffrey Storie (米国出身)	30	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
1月20日(日) 14:00～16:00	新春国際交流のつどい 2019 	100	当センター	合同	300円 一般600円	会員・一般・外国人
1月26日(土) 13:30～15:00	外国語ボランティア養成講座後期③	---	当センター	---	無料	会員
2月23日(土) 14:00～15:30	私たちの活動説明会 	---	当センター	合同	無料	会員・一般
3月2日(土) 13:30～15:00	華道体験 	20	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
3月5日(火) 10:00～13:00	料理交流会（4） 	20	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
3月9日(土) 10:30～12:30	日本語ボランティア 登録者研修会 	50	当センター	合同	会員無料 一般300円	会員・一般
3月	中国語集中講座	---	当センター	国際教養	未定	会員・一般

※ 休館日（12月～3月）・・・年末年始（12/29～1/3）、1月15日（火）、2月19日（火）・20日（水）、3月休館日なし
※ 行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/> でご確認ください、協会までお問合せください。

〈講座日程の変更〉

中国語入門A 1月5日（土）⇒1月12日（土）13:30～15:30



おめでとうございます

平成30年度
とやま国際草の根交流賞受賞

高岸 睦夫 さん



編集後記

今年の夏から職場にもザンビーク人が加わりました。英語で話す人もいますが、本人は日本語が上手になりたいというので、私のもつぱら日本語（標準語）で声をかけてます。富山にもなじんできたようなので、そろそろ富山弁レッスンを始めようかと思ってます（笑）

（穴戸）